

地図にない道まで徹底的に調査

六甲連山「これぞバイブル本」

神戸の東さん自費出版

神戸から宝塚までの六甲連山の登山道や景観などを全5巻にまとめた「六甲連山バイブル」が、自費出版された。神戸の昔の写真を保存する「神戸アーカイブ写真館」（神戸市長田区二葉町7）代表の東充さん（68）が約9年間にかけ、自ら全て調べ上げた労作となっている。

（土井秀人）



「六甲連山バイブル」を持つ東さん（右）と、登山グループの仲間＝神戸市長田区二葉町7

登山道、神社・仏閣など全5巻

60歳のときに六甲山全山縦走に初参加し、地図に載っていない道に迷ったことがきっかけで、資料から登山道を調べ始めた。その後、六甲連山の文化や歴史などにも幅を広げ、六甲山や摩耶山、菊水山などに4年間通い詰めた。頑丈なトレッキングシューズ2足をはきつぶしたという。

登山道編▽山頂・三角点編▽滝・奇岩・磐座編▽美観・景観編▽神社・仏閣編の5巻に編集し、A4判計765ページ。登山道編では約400の道を紹介。市販の地図に載っていない道も、古い文献などに当たって現地を訪れた。山に伝わる伝説、民話なども調べ掲載している。

ほかに、79の山頂、68の滝など、六甲連山に関わる膨大な情報を、写真や地図を交えて紹介している。

東さんは「六甲山でここまでまとめた本はないだろう」と思い、「バイブル」と名付けた。本を見て、現地を訪れて、さまざまな魅力を発見してほしい」と話す。

各編3千円（登山道編は3500円）。5巻セットは収納カバーが付いて1万6千円。神戸アーカイブ写真館 ☎078・642・2355

約400の道を紹介。市販の地図に載っていない道も、古い文献などに当たって現地を訪れた。山に伝わる伝説、民話なども調べ掲載している。